



阿像

吽像

有形文化財（彫刻）

17. <sup>もくぞうずいしんぞう</sup>木造随神像 <sup>く</sup>2 軀一対

■指定年月日 昭和41年6月1日（1966）

■像 高 阿像 50.5cm 吽像 51.0cm

■所在地 馬縹町9-1甲

■所有者 <sup>かすが</sup>春日神社

2体とも頭部と胴体は、一木造りで彩色されたあとが残っている。太刀や両手の持ち物はなくなっている。

像の底面には次の墨書の銘文が残る。

（阿像）

願主西□寄進故依御意趣□

春日

現世□造現為諸願□

大明神

于時大永八□皆令満足如意□

領主馬繫浦

秦恒利左□

（吽像）

馬繫浦秦恒利左衛門□

□後生□処殊子孫為□

□潤九月十六日

大永八<sup>戌</sup><sub>子</sub>

この銘文によって、<sup>まつなぎ</sup>馬繫浦の領主、<sup>はた</sup>秦恒利左衛門が大永8年（1528）子孫繁栄のために奉納した事がわかる。珠洲の中世史や秦氏の動向をつかむ史料としても重要な遺品である。